

# 雲蝶 作品コーナー

雲蝶作品を紹介します。

らん ま あさぼり さ どうく  
欄間浅彫一茶道具 (永林寺)



「透かし彫り」とは対照的な「浅彫り」の欄間です。技法的には、「肉合彫り」という板面から輪郭を彫り込んで立体感を出す手法です。

深く彫り込んだ欄間のような派手さはないですが、落ち着き感のある浅彫りは、デザイン力に秀でた雲蝶独特の作品ともいえます。左端に「庚申極月 匠雲蝶 正照」と刻銘・落款が残されています。1860年12月、雲蝶47歳の時の作品です。

## 石川雲蝶の軌跡 (石動神社の神功皇后)

雲蝶さんの娘、なみが嫁いだころ、石動神社から彫刻の依頼がありました。

石動神社の棟梁をしていた松尾家では、お嫁さんに赤ちゃんが生まれました。

「神功皇后に赤ちゃんを抱かせてみようか。そういえば、私も孫が生まれている頃かな」

おっばいを出して赤ちゃんを抱く神功皇后を彫ると、子どもたちが喜んで集まりました。

雲蝶さんは木切れで作った玩具を作り、子どもたちを喜ばせました。

「日本一の彫工をめざした私だが、日本一幸せな彫工になったのかもしれないな」

雲蝶さんの胸に出会った人や彫刻を見に来る人、みんなの笑顔が浮かびました。

(文・イラスト 高橋郁丸)



雲蝶さんと子どもたち

## 紹介コーナー

～ 大浦雲蝶会 関会長 インタビュー ～

今回は、大浦雲蝶会の会長として活躍されている関 繁信さんへ、会の立ち上げの経緯や取り組みについて、インタビューさせていただきましたのでご紹介いたします。

### Q. 大浦雲蝶会立ち上げのきっかけを教えてください。

2013年の秋頃、大浦地区の野菜作りの仲間が集まった時、2014年が雲蝶生誕200周年にあると聞いて西福寺の地元としても、少しでも盛り上げればいいなということで、会を立ち上げました。会員は現在27人います。

### Q. 会が結成されてから一年くらいなんです。どのような活動をされてきたのでしょうか？

西福寺の近くにある古民家をお借りして、そこを拠点に毎週日曜日に野菜や山菜の販売、昔語り、雲蝶レンタルパネル展示を行ってきました。秋には、収穫祭も開催しましたし、地元の行事に合わせた活動もしています。

今年から大浦雲蝶会たよりを発行し、集落各戸や遠方の会員に配布しています。

### Q. 「雲蝶の郷 古民家 内田邸」ですね！日曜日にはどんな方々がお見えになれますか？

どなたでも大歓迎ですが、西福寺に来られた方から一番多く寄っていただいています。雲蝶の素晴らしさについてお話しされたり、語り部による昔語りを聞かれたりして、喜んで帰っていかれます。

### Q. 内田邸はどなたでも自由に訪問できて、楽しめるところがいいですね。今後はどのような活動を考えていらっしゃるのですか？

内田邸は雪消えを待って再開していきたいですし、これからも皆さんから何度も足を運んで行けるような活動をしていきたいです。

## よもやま話

## 雲蝶 時空を超えて 会いに行く



「石川雲蝶の軌跡」は、雲蝶研究家である高橋郁丸さんに執筆をお願いしておりましたが、今回で最終話となります。

この雲蝶の物語を楽しみにされていた方におすすめなのが紙芝居「雲蝶ものがたり」です。魚沼市や魚沼市観光協会が貸し出しています。昨年は大浦雲蝶会が運営する「雲蝶の郷 古民家 内田邸」で紙芝居が上演されていました。

雲蝶作品巡りの際には、ぜひ、内田邸に寄って、大浦雲蝶会の方々と一緒に雲蝶を語り、雲蝶の生きた時代を感じてみませんか？ (T)

### 《編集後記》

2013年10月からご愛読いただいた雲蝶だよりは、今回で最終号になります。

雲蝶に興味を持っていただいた皆様には、ぜひ魚沼に足を運んで貰えれば嬉しいです。

最後になりましたが、ご愛読頂いた方々、取材に協力していただいた方々や高橋郁丸さん、実行委員のメンバーの方々には深く感謝致します。

短い間でしたが、大変ありがとうございました。(T)